

## アーカイブ拠点施設の基本理念

- 世界初の複合災害と復興の記録や教訓の「未来への継承」、「世界との共有」
- 福島にしかない複合災害の経験や教訓を生かす「防災・減災」
- 福島に心を寄せる人々や団体と連携し、地域コミュニティや文化・伝統の再生、復興を担う人材の育成等による「復興の加速化への寄与」

【出典】東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設有識者会議報告書

## 選定の視点

上記の基本理念に適合した上で、アーカイブ拠点施設に期待されている本県の復興の拠点としての役割を果たすことができるよう、以下の視点に基づき選定することとする。

- 世界初の複合災害と復興の記録や教訓の未来への継承・世界との共有の場として妥当であり、原子力災害を含む複合災害の情報発信拠点として適した場所にあること。
- 復興祈念公園（双葉・浪江両町にまたがるエリア）や震災遺構（候補）との連携が図られること。
- 連携により、アーカイブ拠点施設への集客など相乗効果を促進するような近隣施設等があること。
- 復興計画等での位置付けがあり、また、用地の確保が容易で、早期の事業着手が可能であること。
- （現在及び近い将来の予定として）交通アクセス、電気、ガス、上下水道が整備され、宿泊施設や商業施設等が近郷にあるなど、来訪しやすく、滞在しやすい環境があること。
- 立地市町村にとって、復興の加速化へ寄与する施設としての貢献度が高いこと。